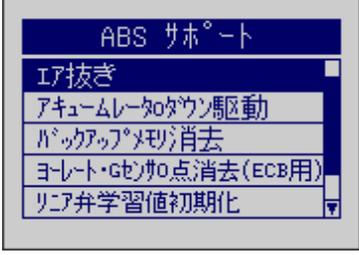
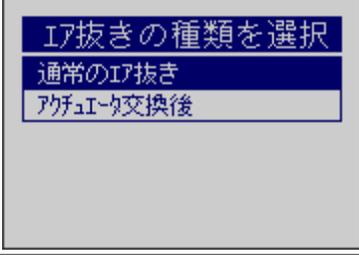


プリウス α の ECB エア抜き方法 (ZVW40 型系)

- 注意 -

- ・フルードエア抜きはシフトポジション P およびパーキングブレーキを効かせた状態で行います。
- ・アクセルペダルからのフルードリリースによりブレーキフルードがあふれる事がある為、フルード缶はリザーバ注入口に立てないで下さい。
- ・フルードエア抜き作業中はブレーキフルードをリザーバの MIN-MAX レベルの間を保つよう補充しながら行って下さい。
- ・リザーバのブレーキフルード No.1(ブレーキマスターポンプ ASSY-リザーバ間チューブ)取付けポートよりフルード液面を低下させ、チューブ内にエアが混入すると、フルードエア抜き作業中のポンプモーター駆動によりブレーキマスターポンプ ASSY 内にエアが噛み込み、エア抜き困難となります。
- ・フルードエア抜き実施中にアクセルペダル圧低下によりブレーキが作動する場合がありますが、異常ではありません。
- ・フルードエア抜きの際、ポンプモーター保護のため連続駆動は 100 秒以内で行い、圧力を解放してポンプモーター駆動を一旦停止させます。
- ・フルードエア抜き作業により、ダイアグノシスコードが記憶された場合は、フルードエア抜き完了後ダイアグノシスコードを消去します。
- ・塗装面にブレーキフルードを付着させないように注意して下さい。付着した場合はただちに洗い落として下さい。

4.	<p>[TOYOTA]を選択します。</p> 
5.	<p>[作業メニュー]を選択します。</p> 
6.	<p>[ABS/VSC]を選択します。</p> 
7.	<p>[エア抜き]を選択します。</p> 
8.	<p>[通常のエア抜き]を選択します。</p> 
	<p>・ブレーキマスターポンプ ASSY、ブレーキスタ ASSY(マスタシリンダ付)およびブレーキスタシリンダリザーバ ASSY 交換後は、「アクセルペダル交換後」を選択します。</p>

	<p>・ブレーキフルードがリザーバの MIN-MAX レベルにある事を確認し、必要に応じて補充して下さい。</p>
1.	<p>イグニッションスイッチが OFF であることを確認し、TPM1000 を車両に接続します。</p>
2.	<p>イグニッションスイッチを ON にします。(ブレーキペダルを踏まずに、パワー(イグニッション)スイッチを 2 回押します)</p>
3.	<p>[診断] を選択します。</p> 

<p>9.</p>	<p>注意事項を確認し、[YES] ボタンを押して下さい。</p> <div data-bbox="312 159 671 412" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>ブレーキ室内のエア抜きを行います 注意! エア抜き中にリザーバ内のブレーキ油が下限を下回らないように気を付けてください</p> <p>「YES」 ボタンを押して下さい</p> </div>	<div data-bbox="1023 80 1382 338" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>RR輪のエアが抜けるまでブレーキペダルを踏み続けて下さい</p> <p>RR輪のエアが抜けたらRR輪のブレーキ油を緩め、ブレーキペダルを放してください</p> <p>「YES」 ボタンを押して下さい</p> </div>
<p>10.</p>	<p>前提条件を確認して下さい。</p> <div data-bbox="312 465 671 719" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>以下の条件を確認し「YES」ボタンを押して下さい</p> <ul style="list-style-type: none"> - 車両が停止していること - Pブレーキが引いてあること - IG ON であること - リザーバレベルスイッチ用コネクタが外れていること </div>	<p>14.</p> <p>ブレーキペダルを踏んだ状態で、RL 輪(右左)のブレーキ油を緩めて、[YES] ボタンを押して下さい。</p> <div data-bbox="1023 465 1382 719" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>ブレーキペダルを踏んだ状態でRL輪のブレーキ油を緩めてください</p> <p>「YES」 ボタンを押して下さい</p> </div>
<p>11.</p>	<p>リザーバレベルスイッチ用コネクタを外し、[YES] ボタンを押して下さい。</p> 	<p>15.</p> <p>エアが抜けるまでブレーキペダルを踏み続け、エアが抜けたら、ブレーキ油を締め、ブレーキペダルを離して下さい。</p> <p>その後[YES] ボタンを押し、次のステップに進みます。</p> <div data-bbox="1023 920 1382 1173" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>RL輪のエアが抜けるまでブレーキペダルを踏み続けて下さい</p> <p>RL輪のエアが抜けたらRR輪のブレーキ油を緩め、ブレーキペダルを放してください</p> <p>「YES」 ボタンを押して下さい</p> </div>
<p>12.</p>	<p>ブレーキペダルを踏んだ状態で、RR 輪(右右)のブレーキ油を緩めて、[YES] ボタンを押して下さい。</p> <div data-bbox="312 1279 671 1532" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>ブレーキペダルを踏んだ状態でRR輪のブレーキ油を緩めてください</p> <p>「YES」 ボタンを押して下さい</p> </div>	<p>16.</p> <p>ブレーキペダルをペダリング後、ペダルを踏んだ状態で、FL 輪(右左)のブレーキ油を緩めて、[YES] ボタンを押して下さい。</p> <div data-bbox="1023 1301 1382 1554" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>ペダリング後ブレーキペダルを踏んだ状態でFL輪のブレーキ油を緩めてエア抜きを行ってください</p> <p>「YES」 ボタンを押して下さい</p> </div>
<p>13.</p>	<p>エアが抜けるまでブレーキペダルを踏み続け、エアが抜けたら、ブレーキ油を締め、ブレーキペダルを離して下さい。</p> <p>その後[YES] ボタンを押し、次のステップに進みます。</p>	<p>17.</p> <p>エアが抜けたら、ブレーキ油を締め、ブレーキペダルを離して下さい。</p> <p>その後[YES] ボタンを押し、次のステップに進みます。</p> <div data-bbox="1023 1720 1382 1973" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>FL輪のエアが抜けたらFL輪のブレーキ油を締め、ブレーキペダルを放してください</p> <p>行ってください</p> <p>「YES」 ボタンを押して下さい</p> </div>

18.	<p>ブレーキペダルをペダリング後、ペダルを踏んだ状態で、FR 輪(70分右)のブレーキプラグを緩めて、[YES] ボタンを押して下さい。</p> <div data-bbox="312 197 671 450" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>ペダリング後ブレーキペダルを踏んだ状態でFR輪のブレーキプラグを緩めてア抜きを行ってください</p> <p>「YES」ボタンを押して下さい</p> </div>
19.	<p>エアが抜けたら、ブレーキプラグを締め、ブレーキペダルを離して下さい。</p> <p>その後[YES] ボタンを押して、次のステップに進みます。</p> <div data-bbox="312 613 671 866" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>FR輪のエアが抜けたらFR輪のブレーキプラグを締め、ブレーキペダルを放して下さい</p> <p>「YES」ボタンを押して下さい</p> </div>
20.	<p>アクシムレタの減圧→蓄圧を画面に従い行います。</p> <p>同じ作業を画面の手順に従い、6 回行います。</p> <div data-bbox="312 994 671 1247" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: right;">1/6</p> <p>アクシムレタの圧力を下げます 圧力が低下するまでおよそ 10秒かかります。</p> <p>「YES」ボタンを押して下さい</p> </div>
	<p>画面右上に 1/6 から 6/6 までカウントが表示されます。</p>
21.	<p>アクシムレタを減圧しています。</p> <p>残り時間のカウントが 0 になると、自動的に次の画面が表示されます。</p> <div data-bbox="312 1449 671 1702" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">駆動中...</p> <p style="text-align: center;">10秒間お待ち下さい</p> <p style="text-align: center;">残り時間 06 秒</p> </div>
22.	<p>ABS モーターが停止し、作動音が聞こえなくなったら、[YES] ボタンを押して下さい。</p>

	<div data-bbox="1023 80 1382 338" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>ABS モーターが停止したら 「YES」ボタンを押して下さい</p> </div>
23.	<p>手順 20 から 22 までを計 6 回終了すると、次のステップに進みます。</p> <p>ブレーキフルードをリザーバタンクの MAX ラインに調整し、[YES] ボタンを押して下さい。</p> <div data-bbox="1023 501 1382 754" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>ブレーキフルードをリザーバタンクの MAX ラインに合わせて下さい</p> <p>「YES」ボタンを押して下さい</p> </div>
24.	<p>ABS モーターが停止し、作動音が聞こえなくなったら、イグニッションを OFF にし、リザーババルブスイッチ用コネクタを元に戻して下さい。</p> <p>その後[YES] ボタンを押して下さい。</p> <div data-bbox="1023 920 1382 1173" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>ABS モーターが停止したら IG OFF し、リザーババルブスイッチ用 コネクタを接続してください</p> <p>「YES」ボタンを押して下さい</p> </div>
25.	<p>以上でア抜き作業は終了です。</p> <p>各シリンダのブレーキプラグの締め付け、フルードの漏れの点検、故障コードの消去を行って下さい。</p> <div data-bbox="1023 1301 1382 1554" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>ア抜き処理が正常に 終了しました</p> <p>「YES」ボタンを押して下さい</p> </div>
26.	<p>[YES] ボタンを押して、[ABS 状態] 画面に戻ります。</p>
27.	<p>[NO] ボタンを押して、[トリメインメニュー] まで戻ります。</p>
28.	<p>TPM1000 を車両から外します。</p>